

事業番号	05 07 01	事業改善シート（令和8年度実施事業分）	□当初要求	■当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	母子保健対策推進事業	部局	健康福祉部	課・室	疾病・感染症対策課	

## 1 現状と課題

- ・妊娠・出産期から子育て期にわたる一貫した切れ目ない支援が求められているなかで、母子保健事業の実施主体である市町村では、事業の取組状況の差、小規模町村における人材育成機会の不足等により、県内の均てん化が図られていない。
  - ・少子化や母親の出産時年齢の上昇（35歳以上が全出生の3割）等の状況下で、不妊について心配したことがある夫婦の割合が39.2%（2021年）と増加傾向にある。
  - ・周産期医療の分娩取扱施設の減少、小児初期救急を担う小児科医不足等により、医療機関や勤務医の負担が大きい。

## 2 事業目的

- ・県内のどこに居住しても質の高い母子保健サービスを受けることができるよう、市町村や専門機関との連携・協働による妊娠・出産から子育てまで一貫した支援体制を構築
  - ・男女の希望する妊娠出産に向けた、プレコンセプションケア及び不妊・不育症等の支援対策の充実  
(プレコンセプションケア：男女ともに現在の健康状態を把握し、将来の妊娠やからだの変化に備えて自分たちの健康に向き合うこと)
  - ・限りある医療の適正配置により、安心・安全な周産期及び小児の医療体制を維持・確保

### 3 事業目的を達成するための取組

## ①県内の母子保健サービスの均てん化への支援

- ・母子保健サービスの質の維持向上のため、乳幼児健康診査や母子保健課題に関する研修会及び情報発信を実施
  - ・市町村母子保健事業の均てん化のため、小規模町村等に対し、母子保健推進員による事業運営や困難事例等への助言を実施
  - ・妊娠婦のメンタルヘルスの課題に対応するため、協議会開催や拠点病院へのコーディネーター配置等により、精神科・産科医療機関、市町村等の連携によるネットワークの構築、精神科医療機関等への相談・受診体制を整備
  - ・居住地に関わらず、安心・安全に妊娠・出産できるよう、遠方の分娩取扱施設で出産する妊娠婦への交通費等を助成

## ②希望する妊娠に向けた支援

- ・妊娠出産に関する正しい知識の普及、助成事業や相談窓口を周知するため、Webサイト「妊活ながの」による情報発信を実施
  - ・プレコンセプションケア及び不妊・不育症等に関する相談の実施
  - ・不妊・不育症治療等の経済的負担軽減を図るため、妊活検診（不妊検査）及び不妊治療（先進医療）に要する費用を助成
  - ・染色体異常や卵巣手術等により卵巣機能の低下が認められる若年女性が、妊娠性（妊娠するために必要な力）を温存するために実施した卵子凍結及び凍結卵子を用いた生殖補助医療に要する費用を助成
  - ・先天性疾患の早期発見・早期治療につなげるため、先天性代謝異常等検査に2疾患（原発性免疫不全症、脊髄性筋萎縮症）を追加した新生児マスクリーニング検査を実施

### ③周産期医療・小児医療提供体制の維持

- ・周産期医療体制を維持するため、周産期母子医療センター運営費を補助
  - ・小児初期救急医療体制を維持するため、小児初期救急電話相談（#8000）及びセンター方式による休日夜間急病センター運営費の補助を実施

## 4 成果指標

No.	指標名	単位	R5年度		R6年度		R7年度		R8年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移		見込	推移			
①	1か月児健診を実施する市町村数	数	5	46	↗		未定	—	77	△	信州母子保健推進センターが行う市町村支援の成果として、1か月児健診の実施市町村数の増加を目指す
②	不妊・不育専門相談センターの相談件数	件	370	294	↘		350	↗	380	△	相談事業の情報発信等により、R6年度以上の相談件数の増加を目指す
③	小児救急電話相談(#8000)の相談件数	件	15,050	14,920	↘		14,910	↘	15,655	△	相談事業の情報発信等により、R6年度以上の相談件数の増加を目指す

## 5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

## 6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分		予算額				決算額	職員数
		前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源	
R8年度	予算案		1,008,536		1,008,536	417,895	20.5
	要求		1,181,596		1,181,596	477,333	
R7年度		271,500	982,101	2,478	1,256,079	402,980	20.5
R6年度		0	912,429	470,997	1,383,426	408,261	722,053
要求からの 主な変更点		<ul style="list-style-type: none"> <li>入院中の子どもの付き添い家族環境改善事業について、事業の優先度を考慮し、予算計上を見送り</li> <li>妊婦に対する遠方の分娩取扱施設を利用する際の交通費等支援事業（補助金等）について、当面の所要額を計上したことによる減額</li> <li>小児救命救急センター運営事業（補助金）について、医療政策化事業での補助したことによる減額</li> </ul>					

事業番号	05 07 01	細事業一覧（令和8年度実施事業分）	□当初要求	■当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	母子保健対策推進事業	部局	健康福祉部	課・室	疾病・感染症対策課	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算	
1	母子保健推進事業	17,541 千円	29,315 千円	予算案 28,985 要求 48,345 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州母子保健推進センター事業	直接	市町村保健師等を対象とした母子保健に関する研修会等の開催 母子保健推進員による市町村母子保健支援 研修会 6回実施		
2	性と健康の相談センター事業	委託 直接	①プレコンセプションケアに関する電話相談の実施【委託先：長野県助産師会】 ②不妊・不育専門相談センターの設置【委託先：長野県看護協会】 ①相談件数130件、②相談件数350件		
3	旧優性保護法一時金支給事務	直接	優性手術等を受けた方に対する補償金等の支給 申請件数10件		
4	妊娠婦のメンタルヘルス支援体制ネットワーク構築事業	委託	妊産婦メンタルヘルス支援体制ネットワークの構築に向けた取組を実施【委託先：信州大学医学部周産期のこころの医学講座】 支援関係機関による協議会開催 1回、専門職の資質向上研修会開催 1回		

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算	
2	心身障害発生予防事業	46,926 千円	92,259 千円	予算案 99,367 要求 103,584 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	先天性代謝異常等検査事業	委託	先天性代謝異常等検査の実施【委託先：県立こども病院】 検査実施件数10,820件		
2	難聴児支援センター事業	委託	難聴児養育支援員による巡回相談（保育園、学校等） 難聴児支援センターの設置【委託先：信州大学医学部附属病院】 難聴児養育支援員による相談件数1,800件		
3	新生児マススクリーニング検査に関する実証事業	委託	新生児マススクリーニング検査（原発性免疫不全症、脊髄性筋萎縮症）の実施 【委託先：県立こども病院】 検査実施件数10,480件		

細事業 No.	細事業名		R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
3	<b>母子医療給付事業</b>		483,485 千円	516,464 千円	予算案 509,723 要求 522,183 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	未熟児養育医療費等給付事業	負担金 委託	未熟児養育医療費の助成 77市町村		
2	小児慢性特定疾病医療支援事業	直接 委託	・小児慢性特定疾病の治療に係る医療費の助成 ・移行期医療センターの設置【委託先：信州大学医学部附属病院】 助成対象1,208人		
3	不妊治療支援事業	直接 委託	・妊活検診（不妊検査）、不妊治療（先進医療）に要する費用の一部助成 ・Webサイト「妊活ながの」による妊娠・出産に関する情報発信 妊活検診助成件数864件、不妊治療（先進医療）助成件数624件		
4	不育症治療支援事業	直接	不育症に係る検査及び治療費の助成 不育症治療費用助成件数40件		
5	妊娠性温存療法費用助成事業	直接	①卵巣機能低下が認められる未婚女性に対し、妊娠性温存療法(※1)及び凍結後の生殖補助医療に要する費用の一部を助成 ※1 妊孕性（妊娠するための力）が低下する前に卵子や精子等の凍結保存を行う治療のこと ②小児・AYA(※2)世代のがん患者等に対し、妊娠性温存療法及び温存後生殖補助医療に要する費用の一部を助成 ※2 思春期および若年成人 ①妊娠性温存療法助成件数30件 ②妊娠性温存療法助成件数22件、温存後生殖補助医療助成件数 8 件		

細事業 No.	細事業名		R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
4	<b>周産期医療対策事業</b>		200,684 千円	198,376 千円	予算案 206,294 要求 272,779 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	周産期医療対策事業	直接 補助金	・母体・新生児搬送状況に関する調査を実施 ・小児・周産期医療体制再構築調整会議、院内助産推進連絡会を開催 ・木曽・大北地域の妊産婦が遠方の分娩取扱施設等で分娩、妊婦健診を行う際の交通費等を助成 ・木曽地域での陣痛タクシーの導入に必要な物品の購入等を補助、ドライバー養成のための研修を実施 小児・周産期医療体制再構築調整会議 2 回開催、院内助産推進連絡会 1 回開催		
2	周産期母子医療センター運営事業	補助金	周産期母子医療センター施設運営費の補助を実施 運営費補助10施設		
3	妊婦に対する遠方の分娩取扱施設を利用する際の交通費等支援事業	補助金	・遠方の分娩取扱施設で出産する妊婦の移動費及び宿泊費を補助 ・遠方の産科医療機関で妊婦健診を受診する妊婦の移動費を補助 （実施主体：市町村） 事業実施12市町村		

細事業 No.	細事業名		R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
5	<b>小児医療対策事業</b>		143,274 千円	142,259 千円	予算案 153,815 要求 224,353 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	小児初期救急医療体制整備事業	委託 補助金	①小児患者の保護者に対する小児救急電話相談事業（#8000）を実施 ②小児初期救急を行う施設の運営費を補助  ①回線数 3回線、②運営費補助10施設		
2	小児救命救急センター運営事業	補助金	重篤な小児救急患者への医療を行う小児救命救急センターの運営費を補助  運営費補助 1施設		
3	地域療育支援施設運営事業	補助金	地域療育支援を行う施設の運営費を補助  運営費補助 1施設		

細事業 No.	細事業名		R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
6	<b>健康センター運営事業</b>		20,519 千円	3,428 千円	予算案 10,352 要求 10,352 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	旧伊那総合健康センター改修工事 旧伊那総合健康センター土地賃借料	直接	中央監視装置更新工事の実施  整備個所数 1か所		